

研究名：当院で S 状結腸過長症に対し S 状結腸切除術を施行した症例の後方視的検討**1. 研究の目的**

S 状結腸過長症は、S 状結腸軸捻転の原因になるとともに、難治性便秘の原因にもなる病気です。内服などの保存加療が選択されることが多いですが、十分な治療効果が得られず浣腸の需要がとれないことも少なくありません。当科では、症候性（捻転を起こしたことがある、内服でコントロールできない便秘がある）の S 状結腸過長症に対し、S 状結腸切除術を行っています。今回我々は、当院で S 状結腸過長症に対し S 状結腸切除術を行った患者様の症状や手術記録などを後方視的に検索し、手術でどの程度症状の改善が得られるか、どの程度の長さの S 状結腸を切除すべきか（どの程度の長さを残すべきか）を検討することを目的としています。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：開院した 1982 年から 2024 年までに当科で S 状結腸過長症に対し S 状結腸切除術を施行した患者様
- ② 研究方法：対象症例に対して、電子カルテを用いて診療情報（年齢、性別、身長、体重、排便状況、既往歴・併存疾患、手術記録、切除した長さ、周術期の合併症、病理所見など）を後方視的に検索します

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者様の情報（年齢、性別など）、手術情報（手術記録、切除した長さなど）、病理所見など

4. 試料・情報の公表

学会や論文での発表に使用

5. 研究実施機関

群馬県立小児医療センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、この研究のためにご自分（あるいはご家族）の診療情報を使用して欲しくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先に 2025 年 3 月 31 日までにご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

群馬県立小児医療センター 外科 小嶋重光（担当者氏名）

電話：0279-52-3551

○研究責任者：

群馬県立小児医療センター 外科 西明（責任者氏名）